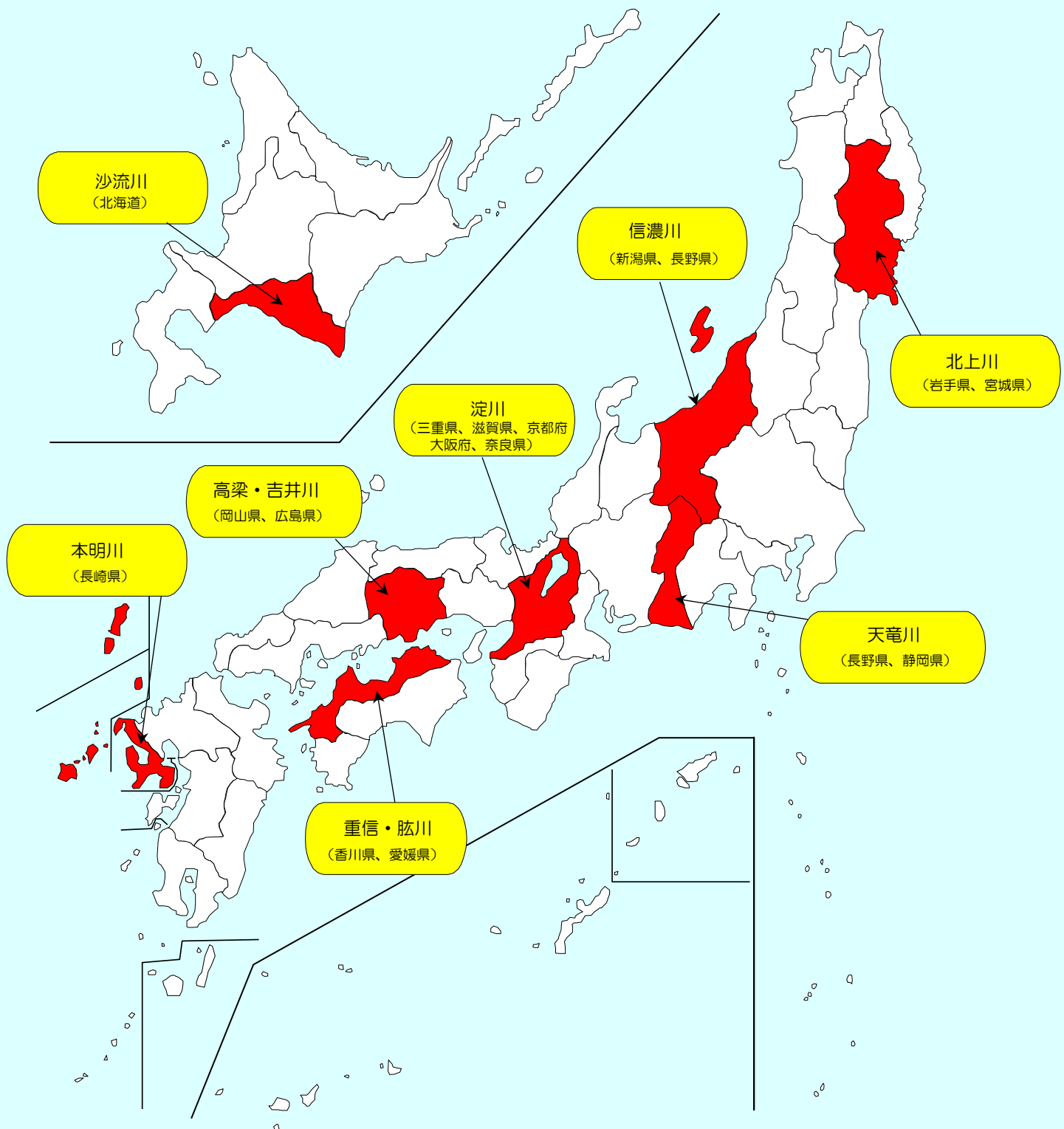


# 資料 6



# 平成27年度期中の評価対象広域流域

※ ( ) は関係都道府県



## 期中評価における評価対象流域

No.	広域流域	H23	H24	H25	H26	H27	H28
1	天塩川	○					○
2	石狩川		○				
3	網走・湧別川			○			
4	十勝・釧路川				○		
5	沙流川					○	
6	渡島・尻別川	○					○
7	岩木川		○				
8	馬淵川			○			
9	閉伊川				○		
10	北上川					○	
11	米代・雄物川	○					○
12	最上川		○				
13	阿武隈川			○			
14	阿賀野川				○		
15	信濃川					○	
16	那珂川	○					○
17	利根川		○				
18	相模川			○			
19	富士川				○		
20	天竜川					○	
21	神通・庄川	○					○
22	九頭竜川		○				
23	木曾川			○			
24	由良川				○		
25	淀川					○	
26	宮川	○					○
27	熊野川		○				
28	紀ノ川			○			
29	加古川				○		
30	高梁・吉井川					○	
31	円山・千代川	○					○
32	江の川		○				
33	芦田・佐波川			○			
34	高津川				○		
35	重信・肱川					○	
36	吉野・仁淀川	○					○
37	四万十川		○				
38	遠賀・大野川			○			
39	筑後川				○		
40	本明川					○	
41	菊池・球磨川	○					○
42	大淀川		○				
43	川内・肝属川			○			
44	沖縄	-	-	-	-	-	-

## 期中の評価における評価区域の単位について

### 平成 22 年度まで

- 全事業地を整備局毎（全国 6 局）に区分し、管轄区域にある同一年度契約全てを一実施単位として事業評価を実施。

課題：単位となる対象面積が広大（北海道・東北で一つなど）で、個々の事業地の地域的特性を十分に反映した評価になっていない  
（評価地域数：6 局 × 8 林齢区分 = 48 対象地）

対応：下流域に事業効果を発揮するという事業の特性や、事業期間の超長期性等を踏まえ、広域流域を評価区域の単位とすることとした。

### 平成 23 年度から

- 全国森林計画で規定する全国 44 の広域流域を評価区域の単位とし、5 力年毎に全ての流域で評価を実施する方法に変更。
- 地域の偏りがないように、評価区域が全国的に分散するよう選択。
- 全国 44 流域を 5 年で一巡することから、評価単年度の対象流域数は、8 ~ 9 流域。  
（平成 27 年度評価地域数：8 流域 × 3 区分 = 24 対象地）

## 平成27年度期中の評価対象地一覧

広域流域名 (関係都道府県)	区 分	契 約 件 数 (件)	契 約 面 積 (ha)	事 業 対 象 区 域 面 積 (ha)
沙流川  (北海道)		29	5,565.07	2,993.28
	50年以上経過分	1	142.11	142.11
	30～49年経過分	20	4,588.57	2,266.78
	10～29年経過分	8	834.39	584.39
北上川  (岩手県、宮城県)		547	15,987.98	13,728.17
	50年以上経過分	69	4,268.87	4,137.25
	30～49年経過分	197	7,097.10	5,814.72
	10～29年経過分	281	4,622.01	3,776.20
信濃川  (新潟県、長野県)		422	19,131.14	13,770.48
	50年以上経過分	132	6,934.41	6,142.81
	30～49年経過分	202	9,384.08	6,154.11
	10～29年経過分	88	2,812.65	1,473.56
天竜川  (長野県、静岡県)		677	23,916.14	18,605.43
	50年以上経過分	63	7,506.33	6,691.79
	30～49年経過分	314	11,922.30	8,876.79
	10～29年経過分	300	4,487.51	3,036.85
淀川  (三重県、滋賀県、京都府、 大阪府、奈良県)		262	8,069.59	5,992.70
	50年以上経過分	63	2,950.48	2,517.03
	30～49年経過分	91	2,866.52	2,109.12
	10～29年経過分	108	2,252.59	1,366.55
高梁・吉井川  (岡山県、広島県)		403	8,782.90	7,604.79
	50年以上経過分	102	3,076.11	2,925.59
	30～49年経過分	117	3,149.93	2,627.78
	10～29年経過分	184	2,556.86	2,051.42
重信・肱川  (香川県、愛媛県)		216	5,498.38	4,353.81
	50年以上経過分	26	1,568.17	1,287.37
	30～49年経過分	83	2,371.85	1,868.33
	10～29年経過分	107	1,558.36	1,198.11
本明川  (長崎県)		142	2,595.38	2,289.70
	50年以上経過分	39	1,043.24	1,006.91
	30～49年経過分	67	1,273.72	1,063.08
	10～29年経過分	36	278.42	219.71
合 計		2,698	89,546.58	69,338.36
	50年以上経過分	495	27,489.72	24,850.86
	30～49年経過分	1,091	42,654.07	30,780.71
	10～29年経過分	1,112	19,402.79	13,706.79

注) 合計と内訳の計が一致しないのは四捨五入によるものである。

## 指標年における生育状況取りまとめ表

### 沙流川流域(北海道)

指標年	事業対象 区域面積		生育状況					備考
			生育遅れ 面積	生育遅れ 率	広葉樹林化 面積	広葉樹林化 率	広葉樹林化 の主な理由	
50年	140	概ね順調	-	-	4	3%	病虫害害	ミズナラ、カシワ ネズミ害
30年	7	概ね順調	0	0%	0	0%	-	森林調査実績がないため、10年経 過分と同様の現地調査を実施
10年	18	概ね順調	0	0%	0	0%	-	

### 北上川流域(岩手県、宮城県)

指標年	事業対象 区域面積		生育状況					備考
			生育遅れ 面積	生育遅れ 率	広葉樹林化 面積	広葉樹林化 率	広葉樹林化 の主な理由	
50年	233	概ね順調	-	-	17	7%	雪害	コナラ、ホオノキ、トチノキ
30年	119	概ね順調	-	-	2	2%	雪害	コナラ、クリ、カスミザクラ
10年	111	概ね順調	0	0%	0	0%		

### 信濃川流域(新潟県、長野県)

指標年	事業対象 区域面積		生育状況					備考
			生育遅れ 面積	生育遅れ 率	広葉樹林化 面積	広葉樹林化 率	広葉樹林化 の主な理由	
50年	517	概ね順調	-	-	88	17%	雪害	ナラ類
30年	6	概ね順調	-	-	0	0%	-	
10年	39	概ね順調	0	0%	0	0%	-	

### 天竜川流域(長野県、静岡県)

指標年	事業対象 区域面積		生育状況					備考
			生育遅れ 面積	生育遅れ 率	広葉樹林化 面積	広葉樹林化 率	広葉樹林化 の主な理由	
50年	1022	概ね順調	-	-	322	32%	寒風害	カン類、ナラ類
30年	29	概ね順調	-	-	0	0%	-	
10年	36	概ね順調		0%	0	0%	-	

※備考欄に記載の広葉樹名は、広葉樹林化した区域の主たる広葉樹

※指標年50年及び30年については、特にことわりがない限り森林調査(VI年齢以上の林分において実施)実施地のデータにより作成

## 指標年における生育状況取りまとめ表

### 淀川流域(三重県、滋賀県、京都府、大阪府、奈良県)

指標年	事業対象 区域面積		生育状況					備考
			生育遅れ 面積	生育遅れ 率	広葉樹林化 面積	広葉樹林化 率	広葉樹林化 の主な理由	
50年	227	概ね順調	-	-	17	7%	雪害・病虫獣害	クヌギ、コナラ 松くい虫被害
30年	12	概ね順調	-	-	0	1%	雪害	
10年	42	概ね順調	0	0%	1	2%	病虫獣害	シカ害

### 高梁・吉井川流域(岡山県、広島県)

指標年	事業対象 区域面積		生育状況					備考
			生育遅れ 面積	生育遅れ 率	広葉樹林化 面積	広葉樹林化 率	広葉樹林化 の主な理由	
50年	580	概ね順調	-	-	77	13%	干害	ナラ類、カシ類
30年	10	概ね順調	0	0%	0	0%	-	森林調査実績がないため、10年経 過分と同様の現地調査を実施
10年	86	概ね順調	0	0%	0	0%	干害	

### 重信・肱川流域(香川県、愛媛県)

指標年	事業対象 区域面積		生育状況					備考
			生育遅れ 面積	生育遅れ 率	広葉樹林化 面積	広葉樹林化 率	広葉樹林化 の主な理由	
50年	107	概ね順調	-	-	35	32%	病虫獣害	コナラ ネズミ害
30年	41	概ね順調	-	-	2	4%	病虫獣害	コナラ ウサギ害
10年	16	概ね順調	0.2	1%	0	0%	-	

### 本明川流域(長崎県)

指標年	事業対象 区域面積		生育状況					備考
			生育遅れ 面積	生育遅れ 率	広葉樹林化 面積	広葉樹林化 率	広葉樹林化 の主な理由	
50年	29	概ね順調	-	-	0	1%	干害	アカガシ
30年	3	概ね順調	0	0%	0	0%	-	森林調査実績がないため、10年経 過分と同様の現地調査を実施
10年	7	概ね順調	0	0%	0	0%	-	

※備考欄に記載の広葉樹名は、広葉樹林化した区域の主たる広葉樹

※指標年50年及び30年については、特にことわりがない限り森林調査(VI年齢以上の林分において実施)実施地のデータにより作成



## 指標年における費用対効果分析結果

(単位：ha、千円)

広域流域	指標年	事業対象 区域面積	便益 (B)	費用 (C)	B / C
沙流川	50年経過分	142	5,069,570	2,989,435	1.70
	30年経過分	7	105,288	61,813	1.70
	10年経過分	18	132,784	64,092	2.07
北上川	50年経過分	312	11,524,805	9,605,464	1.20
	30年経過分	131	2,228,463	1,886,425	1.18
	10年経過分	111	854,058	576,303	1.48
信濃川	50年経過分	540	21,924,353	16,641,916	1.32
	30年経過分	127	2,371,254	1,833,874	1.29
	10年経過分	39	330,623	202,296	1.63
天竜川	50年経過分	1,027	42,523,598	34,445,995	1.23
	30年経過分	63	1,199,252	985,231	1.22
	10年経過分	36	314,449	205,249	1.53
淀川	50年経過分	252	10,637,564	7,837,874	1.36
	30年経過分	17	316,890	239,274	1.32
	10年経過分	42	366,810	219,681	1.67
高梁・吉井川	50年経過分	686	25,884,144	19,811,014	1.31
	30年経過分	10	175,992	137,611	1.28
	10年経過分	86	680,377	421,744	1.61
重信・肱川	50年経過分	107	4,067,198	3,088,316	1.32
	30年経過分	42	735,850	569,129	1.29
	10年経過分	16	128,520	78,995	1.63
本明川	50年経過分	29	1,346,718	770,702	1.75
	30年経過分	3	62,489	36,561	1.71
	10年経過分	7	66,915	31,698	2.11